

外国語活動・外国語科

1 外国語活動・外国語科の授業づくり

- 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

「主体的・対話的で深い学び」の実現



コミュニケーションを行う目的や場面・状況などを明確にした言語活動を設定し、児童にとって必然性のある活動を効果的に設計することが大切

- 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

外国語活動・外国語科における言語活動

実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動



言語活動

発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動



機械的な練習



- 目標に合致した言語活動が設定されているか
- そのための指導や練習が設定されているか

○ 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

**外国語活動・外国語科における
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
授業改善のポイント**

- ・ 聞く・話す必然性のある場面設定
- ・ 児童同士、指導者とのやり取りの重視
- ・ 豊富なやり取りの設定

「『アクティブ・ラーニング』を考える」(教育課程研究会編著)

○ 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

(1) 単元の目標の明確化

(2) 目標達成に向けた単元の
指導計画

○ 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

(1) 単元の目標の明確化

<単元名>
Junior Sunshine 5 Lesson 2 「When is your birthday?」 話すこと[やり取り]イ

<学年の目標>
日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

<単元の目標>
互いのことをよく知るために、誕生日や好きなもの、好きな季節などについて、具体的な情報を伝え合うことができる。

【Ⅰ 評価規準の設定】
・CAN-DO リストを基に単元で重点的に取り上げる技能や領域の学習到達目標を設定する。1つの単元で全ての領域・技能を評価するのではなく、焦点化し、年間を通じて、各単元にバランスよく位置付けている。

(中略)

3	<p>○月日を探ねたり答えたりするとともに、友だちと好きな季節について伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での日にちの言い方を聞いて、関係する行事との関連を理解する。 <p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">ペアで好きな季節について伝え合う様子について、1人1台端末で撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画を基に、改善ポイントを話し合う。 ・やり取りの内容を見直し、1回目とは異なるペアで、再度やり取りする。 		<p>改善ポイントを友人と一緒に話し合うなど、児童同士がフィードバックを行っている。</p>
4	<p>○月日を探ねたり答えたりするとともに、誕生日を伝え合う表現を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有名人になりきった教師や児童に対し、質問することにより、誕生日を伝え合う表現に慣れ親しむ。 ・デジタル教科書を活用して、自分に適した速度や聞き逃した部分などを重点的に聞く。 	[知・技] 行動観察	<p>【Ⅱ 言語活動の充実】 ・活動一指導一活動を繰り返して、児童が現在できることや単元終末までにできるようになりたいことを、児童自身が自覚させるとともに、効果的な表現を全体で共有することで、次の言語活動の充実につなげている。</p>
5	<p>○クラスの誕生日ポスターを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いのことをよく知ることができるよう、誕生日や好きなものなどが分かるポスターを作成する。 <p>○お互いのことをさらに知ることができるよう、ポスター記載されていないことについて、やり取りし、ポスターに追加する。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">○具体的な情報を伝え合うという学習を通して学んだこと（本単元の目標に即して身に付いたことや、今後の学習や生活の中で生かしていきたいことなど）を振り返る。</p> <p>○やり取りをとおして聞けなかったことやもっと聞きたかったこと等をメモし、次時の学習につなげる。</p>	[思・判・表] 行動観察 (録画機能の活用) [主] ワークシート	<p>【Ⅲ 1人1台端末の活用】 ・学習者用デジタル教科書を活用して、使いたい表現等を確認し、伝える内容を再考できるようにしている。</p> <p>【Ⅳ 言語活動の充実】 ・学習内容や単元を通して身に付いた力を振り返る場面を位置付けることで日常場面での活用につなげている。</p>

○ 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

(2) 目標達成に向けた単元の指導計画

単元の目標	1	2	3	4
<ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方があることや、外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 相手に配慮しながら自分の好みを伝え合う。 	<p>多様な考え方があることに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。</p> <p>【Activity】 自分のにじをかこう 【Let' s Watch and Think①】 ○シャッフルゲーム ○好きな色を教える 【Let' s Listen①】 【Let' s Chant】 I like blue. (①色編) ○Goodbye Song</p>	<p>外来語を通して英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付くとともに、好みを表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Hello Song 【Let' s Sing】 The Rainbow Song ○カラー・タッチ・ゲーム 【Let' s Listen②】 ○Who am I?クイズ 【Let' s Chant】 I like blue. (②スポーツ編) ○カード・ディスティニー・ゲーム ○Goodbye Song</p>	<p>好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、相手に配慮しながら自分の好みを伝え合う。</p> <p>○Hello Song 【Let' s Sing】 The Rainbow Song 【Let' s Listen③】 【Let' s Watch and Think②】 ○ ○×クイズ 【Let' s Chant】 I like blue. (③質問編) 【Let' s Play】 ○Goodbye Song</p>	<p>相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介しようとする。</p> <p>○Hello Song 【Let' s Sing】 The Rainbow Song 【Let' s Chant】 I like blue. (①～③) 【Activity】 自己紹介シートを作成し、自分の好みを交えて自己紹介をし合う。 ○Goodbye Song</p>

単元の終末を意識し、バックワードデザインで単元計画を作成する。

○ 外国語活動・外国語科の授業づくりのポイント

(2) 目標達成に向けた単元の指導計画

- 活動の意図を明確にする。
- 難易度を段階的に高める活動を設定する。
- 十分に音声で語句や表現に触れる機会をつくり、話すことへのレディネスを整える。

○ 小学校外国語活動・外国語科の目標

小学校外国語活動	小学校外国語科	中学校外国語科
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による<u>聞くこと、話すことの言語活動</u>を通して、<u>コミュニケーションを図る素地</u>となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による<u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動</u>を通して、<u>コミュニケーションを図る基礎</u>となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、<u>外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動</u>を通して、<u>簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る</u>資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>

○ 小学校外国語活動・外国語科における言語活動

学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、言語活動は、「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。

小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)

○ 小学校外国語活動・外国語科における言語活動

- ・ コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定する
- ・ 決められた表現を使った単なる反復練習のようなやり方ではなく、伝え合う目的や必然性のある場面でのコミュニケーションを大切にする
- ・ 児童にとって身近で具体的な場面設定の中で行い、「誰に」、「何のために」という、「相手意識」や「目的意識」をもって、質問したり答えたりする必然性のある活動にする
- ・ 児童が本当に伝えたい内容を話したり、友だちの話す内容を聞いたりすることができる場面を設定する

など

○ 小学校外国語活動・外国語科の内容

Small Talk

～2単位時間に1回程度取り入れる活動

【第5学年】

指導者の英語による、まとまった話を聞く活動

【第6学年】

既習の表現を使ってペアで考えや気持ちを伝え合う活動

○ 小学校外国語活動・外国語科の内容

【第5学年】 <例> 行ってみたい国

This is Japan. (世界地図を示しながら)

We live in Japan. We are from Japan. Tom sensei is from Canada.

Where is Canada? Yes. It's here.

There are many countries around the world. For example, Australia, India, Kenya, Egypt, Brazil and so on.

Which country do you want to go to? Where do you want to go?

Me? New Zealand! (ニュージーランドの風景写真を見せながら) I want to go to New Zealand.

Look. It's beautiful! I want to go to New Zealand.

You can see beautiful mountains, beautiful beaches and beautiful lakes in New Zealand.

And I have a friend in New Zealand. I want to meet my friend, an ALT, Kate sensei!

She is from New Zealand. She is a teacher in New Zealand now.

So I want to go to New Zealand. Do you want to go to New Zealand, too?

○ 小学校外国語活動・外国語科の内容

【Small Talkにおいて児童の発話を促すポイント】

- ①言おうとしている児童に言葉をかけて励ます。
- ②児童が言ったことを認め、繰り返す。
- ③児童が言ったことに相づちや反応を返し、安心感を与える。
- ④児童がつまったときに、ヒントを出す。
- ⑤児童に様々な質問をする。
- ⑥児童の言った日本語表現を英語表現に変えて言う。
- ⑦児童の間違えを、さりげなく修正する。

7 外国語教育におけるICTの効果的な活用

児童生徒の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを有効活用することにより、次のような効果があると考えられます。

- ① 児童生徒の言語活動の更なる充実と指導・評価の効率化
 - ・言語活動（特に「話す」、「書く」機会）の充実とパフォーマンステスト等評価への活用
 - ・言語活動で活用するための、音声・文字・語彙・文構造・文法などの定着（繰り返し練習）
 - ・一人一人の能力や特性に応じた学びの機会の確保
- ② 遠隔地・海外とのコミュニケーションと災害など非常時への対応
 - ・遠隔地や海外等の児童生徒、英語話者との「本物のコミュニケーション」の実施
 - ・新型コロナウイルス対応や大規模災害等に伴う休業期間における学びの保障への活用
 - ・小規模校における対話的な学びの充実
- ③ 児童生徒の興味・関心を高めるとともに学習の質の向上
 - ・コミュニケーションのモデル提示、「聞く」「読む」ための素材の提供
 - ・板書や説明時間の短縮等により、言語活動中心の授業展開が可能
 - ・写真やイラスト等により、日本語を介さずに英語のまま理解することを支援

4技能のバランスのとれた育成

聞く

- ・音声の速度を変えたり、繰り返し再生するなどの個別の支援を児童生徒が活用することができる。
- ・児童生徒の興味・関心や、学んだ内容に関連のある実際の音声を教材として使用することができる。

読む

- ・調べ学習等の場面で、インターネット上の多様な情報を外国語で検索したり収集したりすることができる。
- ・児童生徒の興味・関心や、学んだ内容に関連のある資料を教材として使用することができる。

話す

- ・インターネットを利用して、児童生徒一人一人が遠隔地や海外の人たちと個別に会話することができる。
- ・外国語を話す場面を録音・録画し、活動を振り返ったり繰り返したりすることができるほか、教員が評価に活用することができる。

書く

- ・ネットワーク環境を利用して児童生徒が各自作成した成果物を瞬時に共有・蓄積できる。
- ・インターネット上の文章添削ツール等を利用することで、生徒が自分の書いたものを修正することができる。

- ・遠隔地や海外の学校等と交流することにより、多様な英語や異なる文化に触れることができる。
- ・電子メールやSNSを用いて、読んだり書いたりしながら、実践的なやり取りをすることができる。
- ・ICTを活用してプレゼンテーションやディスカッションの準備をしたり、動画などを作成・共有することができる。

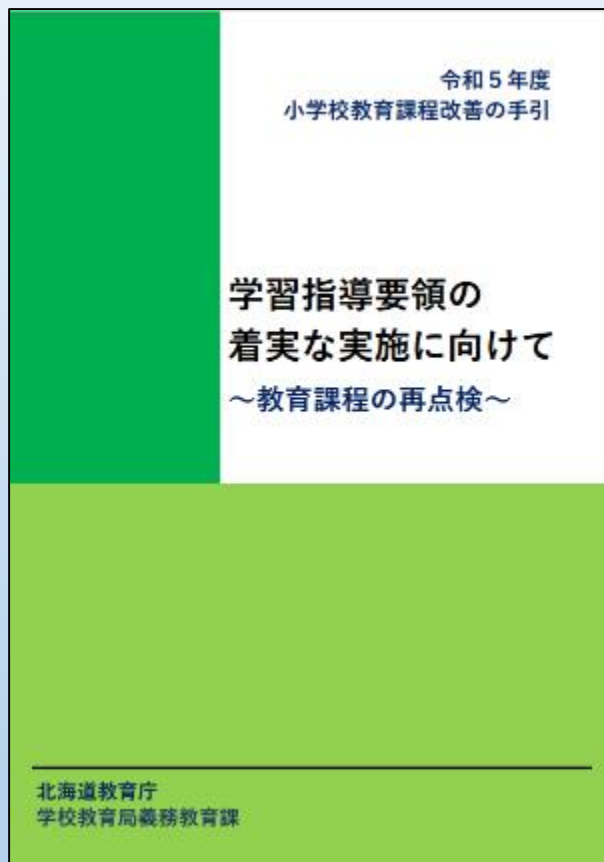
【外国語教育におけるICT機器の活用（1人1台端末）イメージ】

（文部科学省「外国語の指導におけるICTの活用について」より作成）

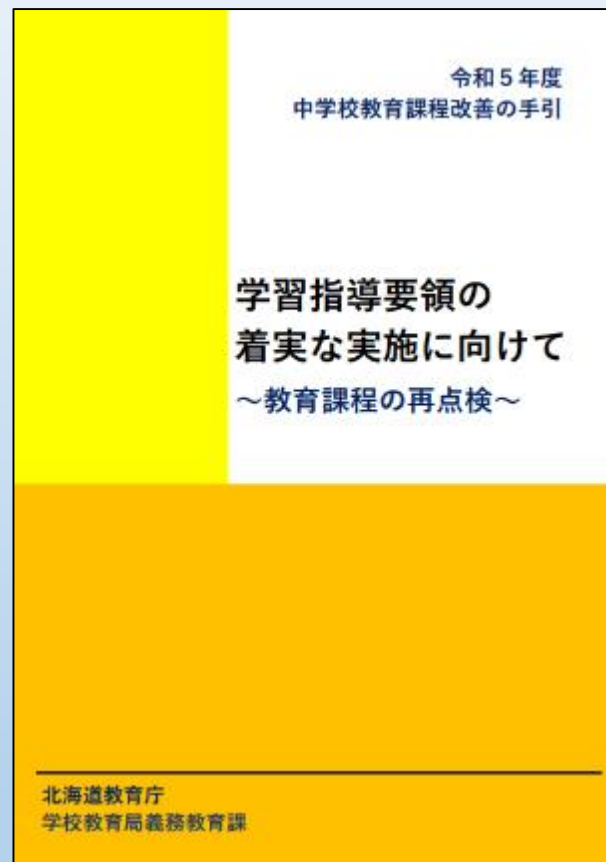
- 小学校外国語活動では、聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成すること。
- 小学校外国語科では、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成すること。
- 小学校外国語活動から中学校外国語科へと段階を踏んだ接続がなされており、小学校外国語科は、中学校外国語科の内容がそのまま下りてきたものではないこと。

参考資料

【小学校（外国語活動・外国語）】



【中学校（外国語）】



参考資料

外国語教育 資料①

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 4技能の基本的な英語力の向上に向けて○ 4技能のバランスの取れた英語力向上に向けて○ Hokkaido CAN-DOリスト○ パフォーマンステストハンドブック～北海道学力向上推進事業（英語力の向上支援）資料～ | <ul style="list-style-type: none">○ 英語教育改善プラン○ 授業で使える教材○ 外部リンク（文部科学省） |
|---|---|

